

B—52 衣料用ボンデッドファブリックの研究
(第2報)

はく離強度と洗たく条件の関係について

華頂学園短大家政 ○妹尾恵美子
奈良女大家政 古里 孝吉

1. 新らしい概念の布として勝れた特性を謳われているボンデッドファブリックについて消費科学的立場からその品質の主なる特性を検討して見る目的で第1報では「洗たくによる収縮と外観変化」について試験の結果を発表した。本報ではB. F. の品質基準の最も重要なきめ手と言われているはく離強さについて、これを主として耐洗たく性の問題と関連して検討して見る事にした。

2. 試料には前回と同じ9種のB. F. を用い試料番号も同一にした。試験方法は「衣料用接着布試験法(案)」に準じてB. F. の原布と、洗たく試験として石けん液法と有機溶剤法によって処理した布と、参考として工業用ドライクリーニング(7回)後の処理布をそれぞれ自記装置付引張試験機によって引はぎ試験を行ない、描かれたチャートから引はぎの様相と強度の変化を調べた。自記装置付引張試験機はオートグラフを、洗たく試験機はJIS 0821のランダオメーターを用いた。

3. B. F. は布の本質上普遍的な結論は出し難いが試験した試料の範囲内では①引はぎに於けるはく離の様相並びに強度の最高値、最低値、平均値を知り得た。②原布に対し各種洗たく後の処理布のはく離強度(接着強度)の変化の実態を掴む事が出来た。以上によってB. F. の品質基準の主なる項目であるはく離強度の考え方および

この布の取り扱いについて消費者の立場から2,3の問題点について考察した。